

当社営業担当より下記のデータをお渡しいたします。

- ・デザイン作成用オープンテンプレート (PSD ファイル1サイズ)
- ・「TORECA ブロック オープンテンプレート」製作ガイド (本書)

■デザイン作成編 目次

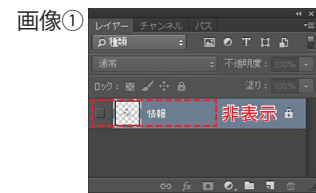
1. オープンテンプレートの説明
2. 前面用データの説明
3. 背面用データの説明
4. その他 デザインについてのご注意
5. 発注時のファイル名について
6. PNG 形式の保存方法について

■デザイン作成編

1. オープンテンプレートの説明

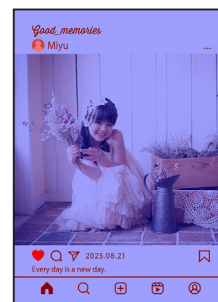
- ・デザイン作成用のデータは1サイズのみとなります。
タイプに合わせてデザインデータを作成してください。
- ・オープンテンプレートは前面用と背面用の2種類ございます。
- ・前面用データ (ファイル名: 00.psd) で前面のデザインを作成してください。
- ・背面用データ (ファイル名: 01.psd) で背面のデザインを作成してください。

種類	mm サイズ	pixel サイズ	解像度
前面	65 × 90	768 × 1063	300dpi
背面	65 × 90	768 × 1063	300dpi



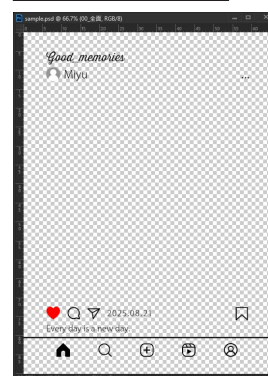
2. 前面用データの説明

- ・上下左右部分に裁ち落としの目安となる画像領域を表示しています。→ **画像領域**
- ・「情報」レイヤーは印刷時に反映されますので、レイヤー結合、書き出す前に必ず削除するか非表示にしてください。・・・画像①
- ・裁ち落としでご利用の画像、背景模様等は画像領域の外側の PSD データギリギリまでの全面に配置してください。
- ・裁ち落としの影響のため、文字などはセーフゾーンのグレー部分から余裕のある位置に配置してください。
- ・アクリルの前面に印刷するため、パーツデザイン以外の箇所は透過させる必要があります。
- ・保存の際は必ず PNG 形式にしてください。



【例】
前 面：赤色部分(テキスト等)
背 面：青色部分(写真等)

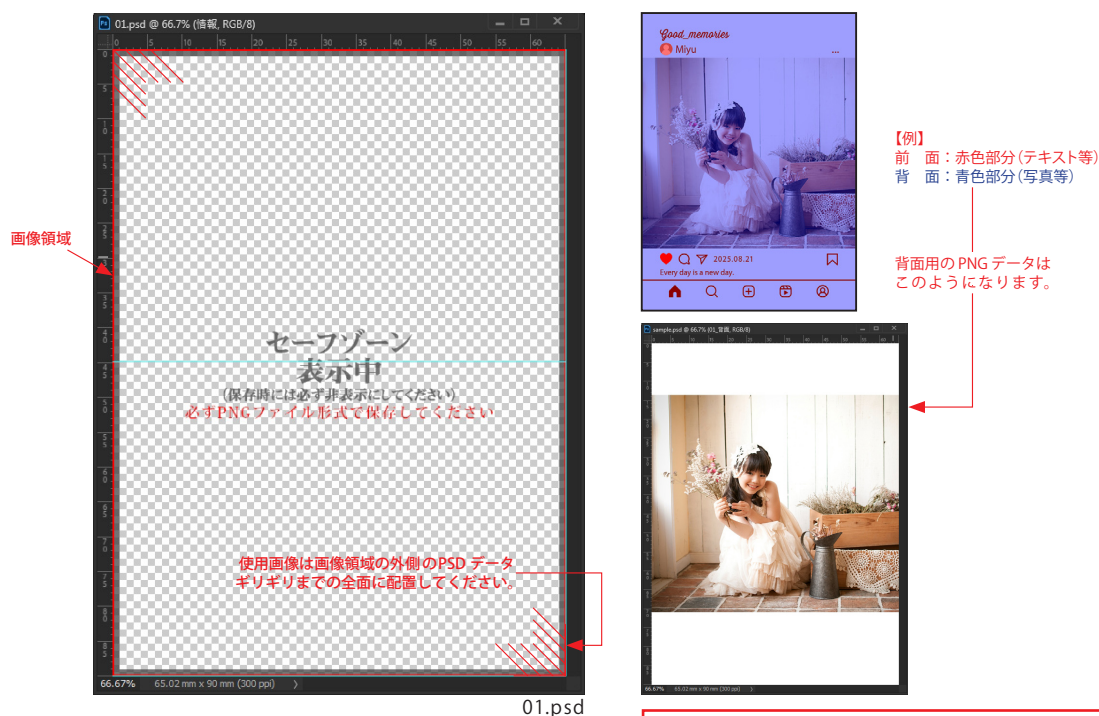
前面用のPNGデータは
このようになります。



※ アクリル素材製品の性質により、白色は薄く仕上がります
(Photoshop 画面にて透過10%程度にした状態に近いものとなります。仕上がりのイメージとしてご参考ください)

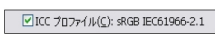
3. 背面用データの説明

- ・上下左右部分に裁ち落としの目安となる画像領域を表示しています。→ **画像領域**
- ・「情報」レイヤーは印刷時に反映されますので、レイヤー結合、書き出す前に必ず削除するか非表示にしてください。・・・画像①
- ・裁ち落としでご使用の画像、背景模様等は画像領域の外側の PSD データギリギリまでの全面に配置してください。
- ・裁ち落としの影響のため、文字などはセーフゾーンのグレー部分から余裕のある位置に配置してください。
- ・保存の際は必ず PNG 形式にしてください。



※ アクリル素材製品の性質により、白色は薄く仕上がります
(Photoshop画面にて透過10%程度にした状態に近いものとなります。仕上がりのイメージとしてご参考ください)

4. その他 デザインについてのご注意

1. デザイン用の PSD データは Photoshop 6.0 以降に対応しています。
 2. Photoshop 形式、RGB モード **【s-RGB プロファイル】** でデータを作成してください。
 3. PPM にて入稿するデータは PNG 形式 **【圧縮：最小 / 低速】** **【インターレース：なし】** で保存してください。
 4. PNG 保存時に「ICC プロファイル」にチェックが入っていることをご確認ください。→ 
- ※ ご使用の Photoshop のバージョンによっては「ICC プロファイル」がグレーアウトになり選択できない場合がございます
その場合はそのままの状態でご保存してください
5. 事前にモニターの色合わせを行ってください。ラボでは色補正を行いません。

5. 発注時のファイル名について (※半角英数字で作成してください ※ファイル名がルールと違う場合、発注ができませんのでご注意ください。)

- ・ご注文いただく商品によって必要なファイル (名称) が変わります。
- ・ファイル名は「下記ルールに従った数字」+ **「拡張子 (.png)」** になります。

TORECA ブロック ファイル名 ルール

前面 00.png
背面 01.png

6. PNG 形式の保存方法について

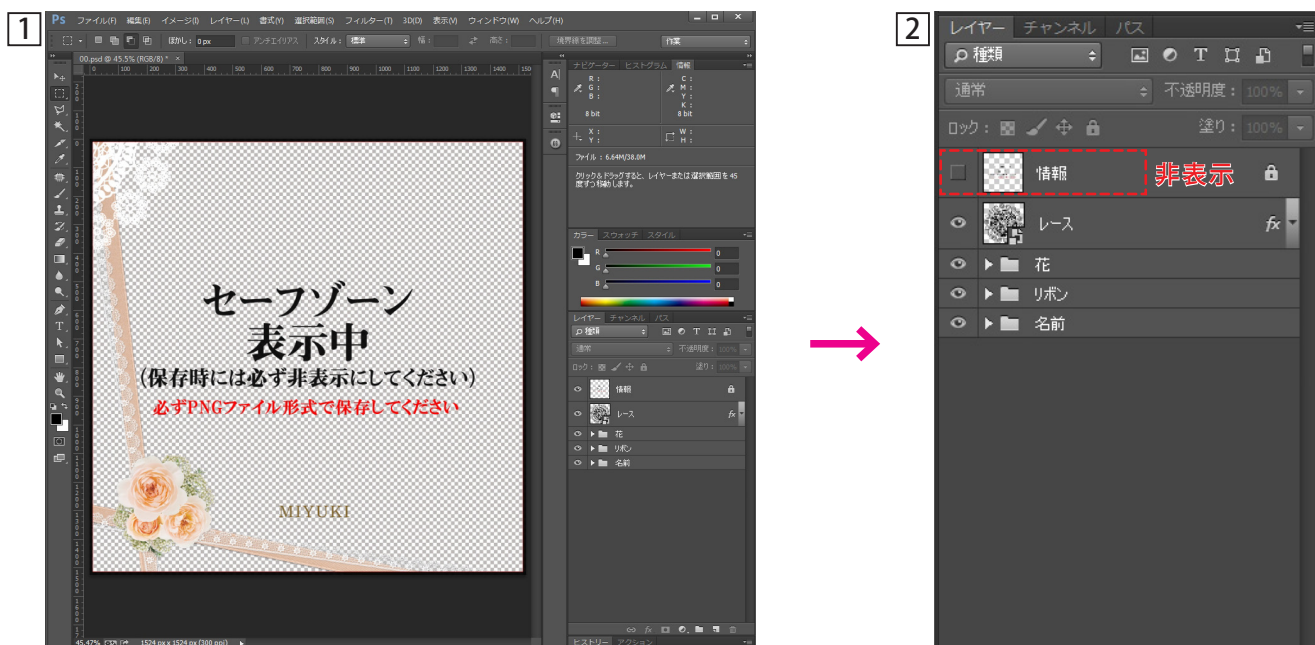
「フォト Block」および「TORECA ブロック」での入稿データ形式につきまして、以下に詳細をご説明いたします。

※ 例ではフォト Block 用の画像を使用しておりますが、TORECA ブロックでも同一の流れになります

1. レイヤー構成および保存前準備
2. レイヤー結合
3. 保存

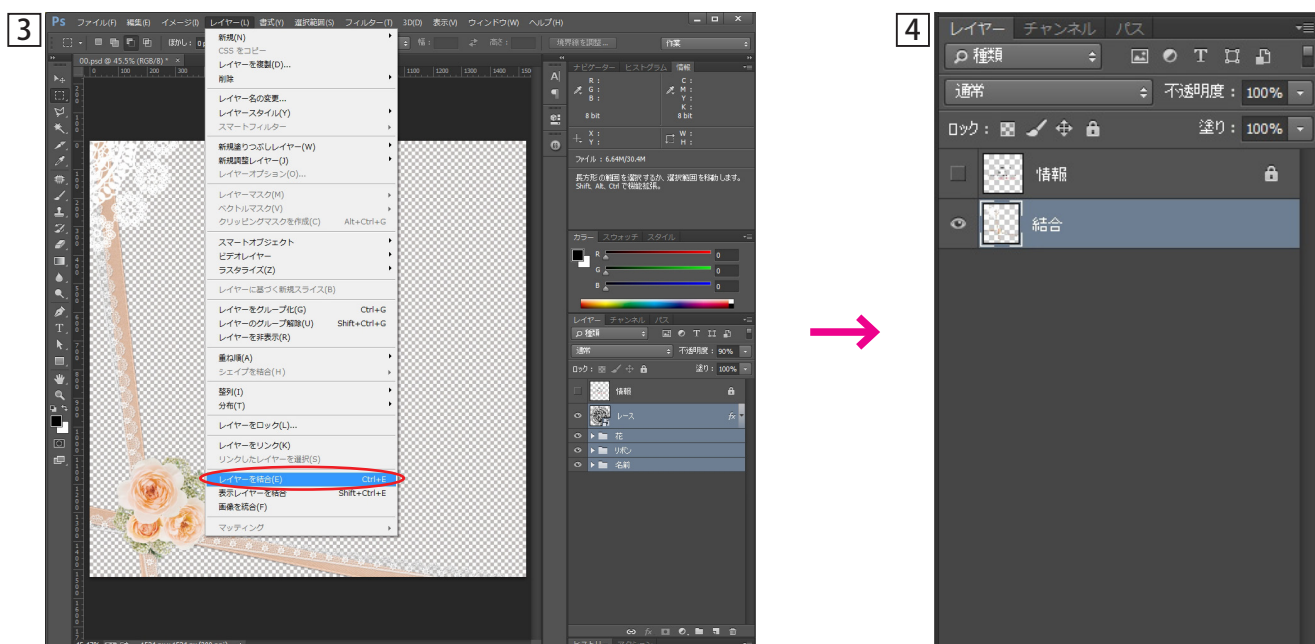
■ レイヤー構成および保存前準備

- ・ オープンテンプレートを使用し、デザイン作成を行ったものとして下記の画像 1 を例とします。
(情報レイヤー / 各パーツレイヤーの構成)
- ・ 保存前準備として、画像 2 のように**必ず情報レイヤーを非表示にするか消去してください**。
そのまま残した状態ですと不要なデザインが入ってしまいます。
- ・ **デザインしたパーツ以外が透過状態になっているか必ず確認してください。(全体が塗りつぶされていないかどうか確認)**
※ 背景など全面が塗りつぶされているレイヤーがあると透過画像にならないことがございます



■ レイヤー結合

- ・ 先ほど非表示にしたレイヤー以外の各パーツレイヤーをひとつに結合させます。
- ・ 画像 3 のように各パーツレイヤーを選択した状態で、「レイヤーを結合」を選択してください。
- ※ 「画像を統合」は選択しないように注意してください。透過画像になりません
- ・ 結合されたレイヤーの名前を変更したものが画像 4 となります。



■ 保存

- ファイルメニューより「別名で保存」を選択し、ファイルの種類で「PNG (*.PNG;*.PNS)」を選択。
「ICC プロファイル (C) : sRGB IEC61966-2.1」にチェックが入っているか確認し、保存してください。(画像 5)
- ※ご使用の Photoshop のバージョンによっては「ICC プロファイル」がグレースアウトになり選択できない場合がございます
その場合はそのままの状態で保存してください
- 保存ボタンをクリックした後に、PNG 形式の保存オプションパネルが開かれます。
各項目を画像 6 のように「ファイルサイズ：大きなファイルサイズ (最速保存)」「インターレース：なし」としてください。

